

各部課長等 各位

企画調整部長 須田美奈

令和6年度予算執行方針について

にかほ市財務規則第13条の規定に基づき、次のとおり令和6年度予算執行方針を定めたので通知します。予算執行方針の趣旨を貴所属職員に周知徹底するとともに、予算の適切・適正な執行に努めるようお願いいたします。

1 予算編成について

令和6年度一般会計予算は、当初予算の総額を151億円と定め、2年連続で過去最大規模となった昨年度に比し、5.6%、8億9千万円の減額となった。(以下、増減はすべて対前年度比)

予算編成にあたっては、財源、人材、時間といった限られた資源をより効果的に活用するため、すべての事業において統廃合や業務の効率化などを念頭に置きながら優先順位を見極め、次の世代に誇りをもって引き継ぐことができるまちづくりのために諸施策を推進するものとした。

予算概要は、歳入では、市税を1.5%増の27億9,588万円、地方交付税を令和5年度同額と見込み、普通交付税50億円、特別交付税2億2,500万円としたほか、地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債については、国の地方財政計画において引き続き大幅な発行抑制が示されていることから、63.9%減の2,195万7千円と見込んだ。財政調整基金からの繰入れを除く一般財源総額は、89億8,796万8千円となり、減少傾向が続いている。

次に、歳出では、会計年度任用職員への勤勉手当支給開始や、人事院勧告による給与改定、消防団員への報酬改定などに伴う予算を計上した結果、人件費が5.8%増の27億5,659万6千円となった。このほか、扶助費を3.3%減の22億1,224万2千円、公債費を4.5%増の17億1,059万7千円とし、これら義務的経費の予算総額に占める割合は44.3%となった。投資的経費は、防災行政無線強靱化事業を含む大型事業を計画的に行い、12.8%減の15億5,364万8千円、その他経費においては、公共施設等総合管理基金積立金(令和5年度創設)の減などにより、積立金を29.3%減の9億5,320万3千円などとした。財政基盤を強化しながら事業を推進することが必要とされる中、厳しい歳出抑制を行ってもなお、令和6年度予算における財源不足額は、過去最大の6億1,500万円となっている。

2 今後の財政見通しについて

歳入のうち、令和6年度当初予算における市税については、企業の設備投資などによる増収を見込み、昨年度比で増額としたものの、今後の人口減少や少子高齢化の急速な進行による地域経済の縮小、中長期的な税収の減少は避けられない。また、臨時財政対策債の大幅減が影響し、実質的な交付税額は今後も減少が見込まれる。一方、歳出においては、人口構造に大きな変化が生じている状況下において、エネルギーをはじめとする物価高騰への対応に加え、住民生活を支える行政サービスの維持・向上を図るとともに、激甚化する自然災害に備えるための防災・減災対策等、市民の生命と安全を守るための取組みを積極的に推進していかねばならない。また、社会保障、教育、社会資本整備など、市民生活に身近な行政サービスを安定的、持続的に提供したうえで、創意工夫を凝らしながら地域活性化のための取組みを進めていく必要があり、そのためには、持続可能な確固たる税財政基盤の構築が不可欠である。

以上を踏まえ、予算執行にあたっては、国・県と基調を合わせ、地域活性化施策の推進により市税等の自主財源の増加に努めるとともに、行政サービスの重点化、効率化に不断に取り組むものとし、以下の基本方針により適宜・適切に対応するものとする。

3 予算執行における基本的姿勢

(1) 「協働のまちづくり」の推進

「にかほ市自治基本条例」のもと、職員一人ひとりが市の基本理念及び市の果たすべき役割、責務などを十分認識し、『市民との協働によるまちづくり』を積極的に推進する。

(2) 「第2次にかほ市総合発展計画」の着実な推進

「第2次にかほ市総合発展計画(後期基本計画)」に基づき、諸課題に積極的に対応するとともに、その他の施策についても着実に推進するものとする。また、「第2期にかほ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策を重点施策と位置づけ、基本目標とSDGsの達成を常に意識しながら、引き続き、課題解決に向けて取り組む。

(3) 行財政改革の推進

「にかほ市行財政改革大綱(第4次計画)」に掲げる「組織改革の実施」、「財政運営の改革」、「地域協働の推進」の3点を改革の柱に据えて重点的に取り組む。

(4) 予算の効率的な執行

最少の経費で最大の効果を挙げること(地方自治法第2条第14項)を基本に、事業実施にあたっては、計画・目標に対する検証を繰り返し行い、事業の効果及び効率性の向上を図る。

(5) 事業財源の確保

職員一人ひとりが事業財源を自ら捻出するという意識を持ち、財源確保に努める。